

県下の交通事故

(平成9年3月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成8年		1,070件	22人	1,407人
平成9年		1,165件	12人	1,585人
比較		+95件	-10人	+178人



◆ 第117号 ◆  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827



新入学を夢みながら交通安全を学ぶ幼稚園児たち

# 高齢者と子どもを事故から守る

今年も春の全国交通安全運動が四月六日から十五日までの十日間実施されます。この運動は、県民一人ひとりに交通安全の知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、交通ルールを守り、正しいマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ろうとする運動です。県民あげて、この運動を成功させましょう。

## 運動の重点

- 一、高齢者と子どもの交通事故防止
- 二、シートベルト着用の徹底

昨年の交通事故による死者は、全国では九千九百四十二人(前年比七百三十七人減)に抑えられた。しかし県内では百十一人が死亡、前年の九十六人を十五人超えてしまい連続二桁台確保の目標は達成できませんでした。全国、県内ともに高齢者の死者の増加が大きな特徴となっており、重要な課題です。今年の本県の交通事故による死者は、三月二十日現在十二人で、昨年より十八人減となっていますが、発生件数で九十五件、傷者数で百七十八人とそれぞれ増加しています。

運動の重点として挙げられている二項目は、国、県とも交通事故の分析結果として、高齢者と子どもが、管内警察時代に、管内警察(パトロール)の心得として「心ここにあらざれば、視れども見えず、聴けども聞こえず」ということを教わった。心があることは、成長とすることに對して心が向いていることであり、以て来仕事の姿勢として「しぐじらないように、よく気を配って注意する」ところを心掛けています。



私が警察官として採用された警察学校時代に、管内警察に、管内警察(パトロール)の心得として「心ここにあらざれば、視れども見えず、聴けども聞こえず」ということを教わった。心があることは、成長とすることに對して心が向いていることであり、以て来仕事の姿勢として「しぐじらないように、よく気を配って注意する」ところを心掛けています。

## 春の全国交通安全運動

4月6日(日)～4月15日(火)

六%を占めるなど異常な状態です。高齢者の方は、戦後の混乱期を乗り越えてわが国を経済大国にした功労者たちです。このご苦労頂いた高齢者の安全で快適な生活環境を守ることが国民の義務であり、また責任です。

●子どもの交通事故死亡事故 子ども(十五歳以下)の死者は、昨年は二人(前年比二人減)で、その犠牲者は歩行中や同乗中でしたが、今年は幸い今のところありません。過去十年県内で最も多い年は八人だったので油断はできません。

●高齢者の交通事故死亡事故 高齢者(六十五歳以上)の犠牲者は昨年は三十四人で、全死者数の三〇・七%はシートベルト非着用であり、また事故運動者の過失のほとんどは危険に気づかなかつたり、発見が遅れたという漫然運転の結果である現実を見ていると、たどり着く

化・高度化に比例して危険が増大していくと言われているが、その中でも最も身近なところに潜んでいる危険は、間違いない交通事であり、誰もが等しく危険を共有している。たどり着く

### 交通安全は心の在り方



山梨交通指導課長 小林 善勝

山梨交通指導課長 小林 善勝  
 駅はあまりにも遠い気がする。交通安全の関係を毎日交通事事故の原因や、統計を基にして交通安全防止対策を講じているが、昨年度の内の交通事故で死亡したドライバーの実に八六・

### シートベルトの着用

県内の走行車両のシートベルト着用率は、昨年秋の交通安全運動中の調査では、運転者で八二・五%、助手席同乗者で七一・八%でしたが、昨年の全交通事故についてみると七七・三%なのに、死者については二三・三%であり、重大事故になるほど着用率が低くなっています。

昨年の死亡事故では、シートベルト着用対象者四十五人中、着用者は六人で着用率は一三・三%と低く、また非着用者三十九人のうちシートベルトをしていれば助かったと認められる者も十一人あり、その救命率は二八・二%となっています。

また現在、国会において「チャイルドシート」の着用を義務づけるかどうか論議が重ねられており、注目されています。



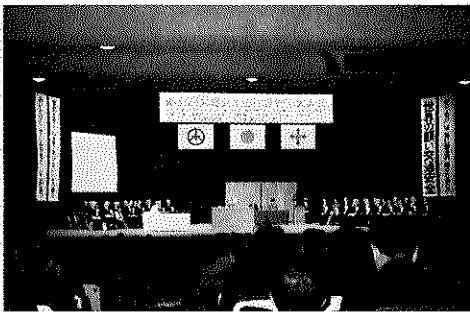
「一億円の賠償は今や常識」といわれ、死傷者の直接損害や得られたはずの逸失利益など、一件で億単位の費用がかかることはめずらしくありません。▼各種保険をかけていたとしても、交通事故を起こせば保険の割引率等が変化して、賠償が大きいと、その不足額を個人や企業が賄います。現在、個人の交通事故で最も高額な賠償金額は、昭和五十一年、岡山地裁で、五十七歳の洋画家被害に、三億八千七百九十九円という高額の損害賠償判決がでています。

▼また、ある会社員が、被害者が二週間入院の事故を起こした時の損害を試算したところ、間接損害でも二百万円にのぼったそうです。この原因は、治療が長引き、示談に時間がかかり、さらに事故を起こした運転手が優秀な営業マンで、契約に行く途中の事故のため商談がキャンセルされたことなどを積算の根拠としています。

▼最近の裁判例では、民法の「過失相殺」理論により、加害者の過失責任と同時に、被害者の不注意も斟酌されて損害賠償金が算定されるので、その過失が大きいと被害者が受領できる損害賠償金は相当減額されます。▼被害者、加害者を問わず、一度交通事故を起こせば、人的・物的・営業的損害は計り知れません。「泣き面に蜂」にはなりたくないものです。

# 第37回交通安全運動中央大会開く

## 交通栄誉章 金章に秋山・近藤氏 緑十字 南甲府安協に優良交通安全協会賞



全国から2000人を集め盛大に開催された大会の状況

全日本交通安全協会（平岩外四会長）と都道府県交通安全協会主催の第三十七回交通安全全国運動中央大会は、東京都内二月二十一日分科集会、翌二十二日本会議と二日間の日程で盛大に開催されました。

換が取りかわされました。企業部会では、本県代表として東京電力山梨支店身延営業所の西室喜美雄氏が「職場安全風土醸成活動の展開」と題して、平成六年度から会社をあげて実施している「安全企業計画」に基づく活動状況を発表し、参加者の共鳴を呼びました。

受賞者・同夫人に対する感謝状の贈呈、優良団体等への表彰が厳粛のうちに行われました。このあと大会宣言が採択され、会議に参加した全国各都道府県交通安全協会の役員等全員が、今年も交通安全のための諸対策を強力に推進することを誓いあいました。

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

### 平成九年度事業計画

春・秋の全国交通安全運動及び夏期・年末年始の交通安全県民運動の推進  
前記活動重点の各項目を着実に推進し、積極的に成果をあげる  
平成十年交通安全県民大会の開催  
交通安全啓発宣伝活動の推進

## 600チームが目標達成

### ～チャレンジ200作戦～ われこそ安全運転を



交通安全チャレンジ200表彰式

今年で四回目となるこの大会は、過去最高の千四百十チーム（前年比五百九十七チーム増）、一万四千四百人が参加して争われた大規模な大会となりました。

県交通安全推進協議会（天野建会長）主催、県警察、県交通安全協会等交通関係団体協賛による「セーフティドライブ・チャレンジ200」の表彰式が、二月二十日、甲府市総合市民会館で行われ、無事故、無違反を達成した七百人が参加しました。

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

（交通安全優良団体）  
山梨支店身延営業所  
（交通安全優良学校）  
長澤 由弘  
（優良交通安全協会）  
高根町立高根東小学校  
（優良交通安全協会）  
南甲府交通安全協会  
（優良交通安全協会）  
塩山交通安全管理協議会  
（交通安全優良事業所）  
甲府交通安全母の会  
（交通安全優良事業所）  
東京電力株式会社

### 高齢者の講習制度発足

#### 鯉沢署と管内の四町で



教習所の教官から指導を受ける高齢者

鯉沢警察署（神沢賜署長）と同署管内四町（増穂・鯉沢・中富・早川各町）等は、高齢者（七十歳以上）の交通事故防止や運転技術の向上を目的とした「高齢者免許更新時実技講習制度」を発足させました。

この制度は県下で初の試みばかりではなく、全国的にも画期的なもので、高齢者の交通事故防止の成果が期待されています。講習費一人二千円については、福祉や交通対策

自転車での交通事故防止を!!  
TSMマークを付けて安全と安心を  
山梨県自転車軽自動車商協同組合  
甲府市飯田5-12-9  
TEL 0552-22-9207

# 反射材等の効果と提言

日本航空大学校 松田 武弘

自動車運転する場合は、運転に必要な情報は視覚より入って来ますので、運転者自身はその連続的に入る視覚情報を瞬時に選択、判断をして行動に移します。ただし、すべての視覚情報を選択、判断するのはなく、運転者自身が必要と思う事のみを選択し判断します。

このように事を考えれば、歩行者は運転者に対して早期に自分の存在、つまり視覚情報を与えていく事が必要です。

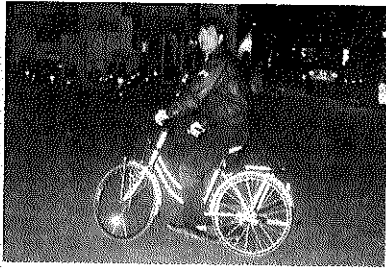
それでは視覚情報をおののけに選択するののかを私の研究またはほかの研究の考えを述べてみましょう。普通、視覚情報の選択は個人の五感などの感覚的機能を通じて、経験、知識、欲求、態度、性格、付属集団などの心理、社会的条件などや年齢、性別の心身条件など、または睡眠時間等の生活条件などのいろいろな要件で歩行者や自転車及び標識等や町並み、さらに出来ごとなどに目を向け、自分に必要な視覚情報を探して目に写った物が何であるかを決定します。

これを認知と呼び、その認知された視覚情報を知識と経験により考え判断をし行動に移します。

これらを考えると、白動車の運転は、その場の状況に対して車をどのよ

うにすれば良いかを絶えず繰り返して、運転者が決める行為であり、その場の状況に対する視覚情報の選択が白動車の運転を左右します。

これらを考えた場合、運転者が視る行為を心掛けていても相手の心理状態を確かめず独り合点で行動したり、また良く見ないで物事を行う軽はずみな行動を起こしたり、さらに前を見ずに携



夜間反射材の効果を実験している状況

帯電話を掛けたり、あるいはすぐに頭に血が上り、一点に集中して回りをみずに行動してしまえば視覚情報の選択など無理な話です。

では視るといふ行為によつて視覚情報の選択ミスが事故の一つの原因と考えれば歩行者、特に高齢者は自ら積極的に自分を見せる事が必要です。

これは早い時期に運転者に対して視覚情報を与える事により運転者の予測判断が容易になり、視覚情報の選択を間違えうことのない注意深い運転態

度になると考えます。

この事は夜間においてはなおさらの事です。夜間における運転者の情報範囲はヘッドライトを下方にした場合、光の照射範囲は前方約40メートルです。しかし前方約40メートルがすべて見えるわけではありません。光が届くぎりぎりの距離です。40メートル先には歩行者がいても運転者はほとんど確認できず、歩行者の全身が確認できるのは照射している光の前方20、30メートル先でようやく全身が確認できます。仮りに白動車が50キロで走行し、歩行者を前方20、30メートルで発見してブレーキを踏んでも、白動車の制動は少なくとも34メートル必要です。歩行者を跳ねてしまふ事になります。

では、歩行者は夜間に運転者に対してどのような視覚情報を与えればよいか考えてみましょう。現在のところ一般的に反射材が有効です。しかし経験的には分かっている事です。なかなか普及していません。これは反射材をどこにつければ良いかが不明瞭であり、取り付ける事がカッコ悪いなどといったさまざまな理由があるためと推測されます。また反射材の視認性に関する研究や有効な取り付け位置の研究などに関する研究の数が少ない事も原因の一つと考えます。しかし現在まで数少ない反射材に関する研究実験の結果として次のことがいえます。

一、反射材を低い位置につける。歩行者であるならば膝から下でクツのカカトやクツ底に付けるのが有効です。これは白動車の下向きライトの光は、低く遠くに届く性質がある

のでその性質を利用する事により、100メートル、300メートルほど離れた歩行者などを確認することができ

二、広い面積の反射材を使用する。小さい面積の反射材では視覚に与える影響が少なく、十分であるので広い面積を使用して目立たせることが有効である。

以上の2点は今の段階ではつきりしていませんが、まだまだ研究課題が多いのも現状です。しかし効果的に使用するには反射材を低い位置に広い面積のものを使用することが有効です。夜間において歩行者、特に高齢者などは運転者に対して自分の存在を気付かせ、運転者が予測し、適切な行動がとれるようにすることが歩行者にとって必要です。

ため、相手の一語一句を聞き漏らさず声の強弱、明暗から雰囲気を読み取り、情景を頭に描いてという事になります。

作業はまだ半分、今度も自分の気持ちを分かち、これは容易なことではな

## シグナル

相手と対面しての会話なら、多少の聞き漏らしも相手の身振り手振りや表情等の、アクション情報からお互いの意志の理解に支障はありませんが、相手の顔が見えない電話での会話はいかがでしょうか。欠けている「視覚」という補助手段を補う

## 携帯電話使用の危険性

ややく正確に伝えるために、会話の経過を頭に描いて言葉を選んで、という事になり、言い換えれば全神経を集中しての作業ということになります。欠けている「視覚」という補助手段を補う

## 安協役員がまず研修 高齢者の特性や安全対策



高齢者の交通安全対策を学ぶ安協婦人部役員

（山梨県交通安全協会）は、高齢者の事故防止対策を効果的に推進するために、まず指導にあたる安協役員自身が高齢者の特性や交通安全対策のあり方を勉強する必要があると考え、県下地区安協役員と同婦人部役員を対象に二回研修会を開きました。

一回目は、昨年十一月十九日、甲府市内のシテイプラザ「紫玉苑」に百三十人の安協役員を集め、「県交通安全協会役員合同研修会」を開き、特別講師として山梨医科大学副学長の入来止躬先生から「高齢者の生理的

機能の特性について」との演題で講演を受けました。内容は「食生活の変化、出生時等の死滅の死滅減少、健康保険制度の充実で平均寿命が延びたが、学者等によると、今後は最長で百歳にプラスマイナスが上限といわれる。車社会の進展を高齢者も避けて通れず、身体が衰えがみられる高齢者は交通事故の被害者や加害者になる確率が高く、また死者の構成率は三三％を占めており、さらに女性や歩行者の人が多く被害の対象になっている。

高齢者の身体特徴は、難聴になり、瞬発力も落ち、反応スピードの遅れ、

また心理面の特徴をみると、①柔軟性がなくなり社会適応が不得手になる。②頑固で保守的になる。③自分のペースでやりたくなる。④老化を恐れる気持が生ずるなどの特徴がみられる。

高齢者に対する効果的な交通安全指導を行ううえでの注意点は①講習会場は椅子式で午前中に行う。②参加者の特性にあった芝居仕立ての演出がよい。③反射材の効果説明や体験ツアーなどを通じ、大事なところは繰り返し行い、教育効果を見届ける必要がある」という概要の講義でした。

## 新入学児に黄色い帽子贈る

ことしも、入学シーズンを迎え、第二十回目の「黄色い帽子を贈る運動」が実施され、県下の新入学児童約一万人に黄色い帽子が贈られました。

平成八年中県内の小学一年生の交通事故は、件数が六十八件（前年比十件増）、死者は一人（前年比一人増）、負傷者も六十七人（同比十人増）と増加傾向を続けています。

これを県内小学生全体と比べてみますと、件数で百九十四件（内三五％、

死者で一人（内一〇〇％）、負傷者で二百五十八人（内二六％）と、全体的に高学年より新入学児による交通事故が多くなっています。

女性特有の繊細な話の内容に受講者は、今後の高齢者の交通安全対策に多くの示唆を受けました。

財団法人 山梨県交通安全協会経営  
**公認 山梨自動車学校**  
 中巨摩郡八田村野牛島1828  
 （運転免許センター内）  
 TEL (0552) 85-0752

★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。  
 ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

### 年間死亡事故ゼロ

▽日下部安協

日下部警察署(秋山毎夫署長)管内では、平成八年中交通死亡事故ゼロを達成したことを記念して、二月十三日、山梨市内の山梨市市民会館において、報告会を開きました。同署管内では前年より五人減少し、十五年ぶり死亡事故ゼロを達成したものです。この成果は日下部交通安全協会(久保田宝会長)等交通関係諸団体、行政機関、住民が一体となって取り組みをした結果として、高く評価されています。



快挙達成を喜ぶ報告会(日下部安協)

## 地区だより

### 活発化する安協活動

#### 最優秀安協で表彰

▽富士吉田安協

富士吉田警察署(依田茂署長)と富士吉田交通安全協会(湯山喜八会長)



寒風吹く中で交通指導(富士吉田安協)

同安協管内では、通常の交通安全運動活動のほかに、高齢者の事故防止に重点をおき、「反射材を活用しての交通安全フ

### 各地区でブロック会議

県下の地区交通安全協会では、交通情勢や交通法令の研修及び地域に根ざしたより有効な安全活動を行うための意見交換の場として、毎年地区数安協で構成されているブロック別の会議を開催していますが、今年も意義ある会議だったと好評を受けています。

#### 峡南ブロック会議

南部・峡沢・市川の三交通安全協会が構成する「交通安全協会峡南ブロック会議」が、二月十九日、身延町の田中屋旅館で開催されました。

講師・助言者の立場で県警交通部の今福参事官、県安協酒井専務理事らが出席し、地元警察署から田草川南部・神沢峡沢・坂本市川各警察署長及び三署の交通課長ら、また南部・峡沢・市川の三交通安全協会の正副会

長ら三十三人が参加しました。会議は、田草川国行南部署長、渡辺喜信南部安協会長らがあいさつしたのち、各交通安全協会から平成八年度中の交通安全事故防止に取り組んだ安協活動の実態が発表されました。

続いて県警交通部の今福参事官が平成八年中の県内の交通事故情勢を説明したのち「県警も交通事故防止活動の中核として活躍する安協と一層

は、平成八年中管内の事故死者数は三人減少という成果が認められ、一月十七日開催の交通安全推進県民大会で最優秀交通安全協会として本部長と県安協会長連名で表彰されました。

同安協管内では、通常の交通安全運動活動のほかに、高齢者の事故防止に重点をおき、「反射材を活用しての交通安全フ

アッションショー」や寸劇で「寿学級交通安全教室」に、さらに、一人暮らし老人の交通安全教室慰安会等各種の高齢者対策を推進したことが功を奏しました。

#### シルバーリーダー委嘱

▽南部安協

南部警察署(田草川国行署長)と南部交通安全協会(渡辺喜信会長)は、



交通安全リーダーを委嘱(南部安協)

二月十七日、身延町内の身延勤労福祉センターで、高齢者に交通事故防止を指導する、「交通安全シルバーリーダー」の委嘱式を開きました。同署管内では、平成八年中の人身事故八十四件中、高齢者が関係した事故が二十七件発生し、高齢者の事故率は三二・一%と県下で最も高かった。このため、同年度の仲間を選び、遊びや家庭訪問等の際に交通安全の指導をしておくと県下で初の試みとしてシルバーリーダー制度をスタートさせたものです。

#### 夜間街頭指導を実施

▽塩山安協

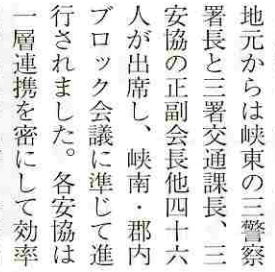
塩山交通安全協会(植

会議には、県警交通部今福参事官、県安協酒井専務理事らが出席、また地元からは峡東の三警察署長と三署交通課長、三安協の正副会長他四十六人が出席し、峡南・郡内ブロック会議に準じて進行されました。各安協は一層連携を密にして効果的に成果のあがる安協活動を進めることを誓っていました。

#### 郡内ブロック会議

上野原・都留・富士吉田・大月の四交通安全協会が構成する「交通安全協会郡内ブロック会議」が、二月十二日、上野原警察署会議室で開催されました。

会議には、県警小森林交通部長、県安協酒井専務等が出席、また地元からは郡内の四警察署長と四署交通課長、四安協の正副会長ら三十七人



事故防止を誓う郡内ブロック会議

#### 峡東ブロック会議

日下部・石和・塩山の三交通安全協会が構成する交通安全協会峡東ブロック会議は、二月二十五日、塩山市内の廣友館で



連携を密にした峡東ブロック会議

下の出し過ぎや居眠り運転等が大半を占めることから、管内の幹線道路の危険箇所及び事故多発箇所十一カ所に赤色回転灯を新設し、また五カ所の補修をしました。

走行車両に注意を呼び起こすのにパトカーのレッド(赤色灯)走行は効果がありますが、設置後同場所付近で重大事故は発生せず、市民に喜ばれています。

盛んに地区研修会

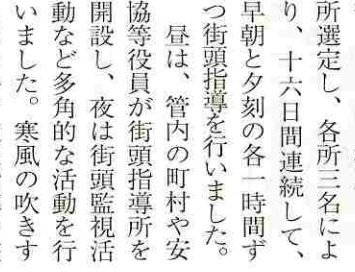
▽韮崎安協

韮崎交通安全協会(山寺嘉一郎会長)では、二月七日、石和町の「石和ビューホテル」で小池市署長以下交通課員及び県安協の酒井専務理事らを出迎えて、研修会を開催しました。

#### 安全ボードを作成

▽市川安協

市川交通安全協会(八木吉治会長)久那土支部(保坂雅孝支部長)と同



安全ボードを披露する久那土支部役員(市川安協)

古閑支部(赤池信秋支部長)では、市川警察署久那土駐在所の若林英樹巡査長から、木製の長さ六十七センチ、幅六センチで、表面に、「しめようベルト」「スピードダウン」の文字入り交通安全ボード各五本を寄贈され、街頭指導等で効果を発揮しています。

#### 反射材活用を推進

▽小笠原安協

小笠原交通安全協会(松田良一会長)婦人部(河西美佐子婦人部長)では、高齢者と子どもに対する積極的な交通事故防止活動を推進するうえでの特効薬は「反射材の普及と活用の推進」ととらえ、婦人部役員らが地域住民と積極的に接し、反射材着用の効果を宣伝し、普及に努めています。



反射材を寄贈する安協婦人部役員(小笠原安協)

#### 赤色回転灯を新設

▽大月安協

大月警察署(一瀬諭署長)と大月交通安全協会(山下道男会長)は、死亡事故等の重大事故は夜間に多発しており、また事故原因としてはスピー

#### 研修会を開催

▽地区安協

研修会には同安協の山寺会長以下六十人が参加し本年の交通安全活動の重点方針等について活発な意見が交わされました。また、酒井専務から、安協活動を県民に正しく理解されるような活動のすすめ方や安協の今後のあり方について説明があり、今年の活動への意欲を燃やしました。



創意工夫をこらして赤色回転灯を設置(大月安協)

山梨県自動車教育協会 藤原信雄会長 傘下の県下十八指定自動車教育所では、四月六日から行われる春の全国交通安全運動期間中の一日を無料開放し、地域における交通安全教育センターとして、各種のイベントを行うことになっています。

#### 教習所を「一日解放」

四月六日、交通安全イベント

当日は、ご家族連れだつて、最寄りの自動車教育所へお出かけになつてはいかがでしょうか。

○日時 四月六日(日) 午前九時から午後四時

○場所 公安委員会公認の県内各指定自動車教育所内

○行事内容

●子どもや高齢者の交通安全教室

●運転技能診断

●教習相談

●応急救護実習

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談

●教習相談